

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～18 台を示し、平年並でした。

〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり25トンの水揚げで、前週の66%（前年並み）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり27トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり65kgの水揚げ（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり467kgの水揚げ（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり132kgの水揚げ（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり61kgの水揚げ（前年を下回った）。

定置網----五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり584kgの水揚げ。対馬西岸地区では、アオリイカなどが1日1統当たり26kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり34kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり128kgの水揚げで、前週の2.9倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/30～4/3の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～島根半島沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、2日延5隻、総計57箱、1航海最高37箱、平均11.4箱。スルメイカ（20～25入）45箱、ケンサキイカ（3立）5箱、ヤリイカ7個の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>